

キャラクター名 プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハイロウ プラム=ストーカー	ワークス	宗教家	カヴァー	神父
	オプション	年齢	21	性別	男
覚醒	生誕	衝動	殺戮	初期侵食率	37%
出自	権力者の血統	経験	出世	邂逅	殺意

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	1	0	0			1	行動値	17
感覚	5	0	0			5	(非装備時)	17
精神	2	0	0			2	戦闘移動	22
社会	0	1	0			1	全力移動	44

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC			交渉		2
回避			知覚	1		意志	1		調達		1
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話		1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
混沌なる者の槍	白兵	1r-2	4	12		武器素能力
(①+②+③) (99↓)	白兵	14r-2	4	17		HP-2
(①+②+③) (100↑)	白兵	14r-2	4	22		HP-2
(①+②+③+④) (99↓)	白兵	14r-2	4	23		HP-2

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
混沌なる者の槍	
聖者の遺骨	
医療トランク	

合計装甲:	0	合計回避:	0
-------	---	-------	---

ロイス			
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイマス消費
遺産継承者: 聖者の遺骨P		N	
神の導き	P 傾倒	N 不安	
リー・カタコート	P 連帯感	N 邪悪	
	P	N 邪悪	
	P	N 邪悪	
	P	N	
	P	N	

最大財産P:	4	残り財産P:	
--------	---	--------	--

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
混沌なる者の槍	2							
効果:	ユニークアイテム取得分 アイテム欄参照							
光の舞踏	1	2	メジャー/リアクション	武器	なし	なし	なし	
効果:	組み合わせ判定 【感覚】で判定可							
コンセントレイト:エンジェルハイロウ	2	2					なし	
効果:	C値-LV							
鮮血の一撃	5	2	メジャー	武器	なし	対決	なし	
効果:	組み合わせ 判定ダイス+ [LV+1] HP-2							
幻影の騎士団	2	2	セットアップ	至近	自身	自動	なし	
効果:	ラウンド中、攻撃の攻撃力+ [LV*3] 自身がダメージを受けると解除							
ブラッドバーン	3	4	メジャー	なし	なし	対決	80%	
効果:	組み合わせ 攻撃力+ [LV*4] HP-5							
不死者の恩寵	3	5	クリンナップ	至近	自身	自動	なし	
効果:	HP [(LV+2) D+ 【肉体】] 点回復							
不死不滅	1	4D10	オート	至近	自身	自動	120%	
効果:	戦闘不能回復 HP[LV*10]回復 1シナリオ1回							
無限の血肉	3	4	オート	至近	自身	自動	リミット	
効果:	戦闘不能回復 HP[LV*D]回復 1シナリオ1回							
七色の直感	1	なし	メジャー	視界	単体	自動	なし	
効果:	対象の感情をオーラのように読み取る							
瀉血	1	なし	常時	至近	自身	自動	なし	
効果:	悪くなった血液を排出し、美しい容姿と健康を保つ							
ブラッドリーディング	1	なし	メジャー	至近	単体	自動	なし	
効果:	血や体液からその主の情報を読み取るエフェクト							
効果:								

【設定欄】

——— 始まりはたった一つの悪行だった。

学校の同級生が虫を殺して遊んでいた。その光景を見ていた僕はどうしようもなく、気分が、悪くなって…
 自室で気がついた僕は二週間家に閉じ込められた。その後学校へ行くと同級生はどこか知らない学校へ転校したと聞かされた。
 でも僕は覚えてる。僕はあの同級生に、彼等が虫にやった事と同じ事をした。彼等が動かなくなるまで。
 何故僕は…あんな事を。わからない、いや、彼等がとてつもなく気持ち悪く思えたからだ。彼等はその足で踏み躪られる、虫以下だと。
 だが…彼等が虫以下なら、自分は何だ？あの侮蔑は、怒りは、神に認められるのか？暗い、暗い闇の底に心が墮ちて行く気がした。
 その時、首に掛けた聖者の遺骨が語り掛けてきた。お前はここから邪悪を打ち払った。正しい事をしたのだと。
 暗闇に、神の光が差したようだった。僕にとってまさしく救いの手が差し伸べられた。迷いは晴れ、自分の為すべき事を理解した。
 嗚呼、これはただの始まりに過ぎない。始まりのたった一つの善行———
 誰一人、息する者のいなくなった教室を、彼は後にした。

聖職者の一族、代々エンジェルハイロウのシンドロームを持つバッドガット家の一七代目当主。
 一五歳の折父親が謎の自殺を遂げ、当主の座につく。遺書には「私は光を失った」と書かれていた。
 「混沌なる者の槍」と「聖者の遺骨」という代々伝わる2つの聖遺物を受け継ぐ。
 神の名の元に、邪悪なジャムを倒すため各地を転々とする。
 …というは表向き経歴である。
 実際は「聖者の遺骨」に混ざった鬼の力の影響を受けたエンジェルハイロウ/プラム=ストーカーのクロスブリード。
 邪悪な者が近くにいる時鬼の力が増幅される。これが本人には「気持ち悪い」と認識される。
 増幅された鬼の力は怒りと暴力という形で発露し、目の前に邪悪に向けられる。
 そして邪悪な存在全てが消え去った後、エンジェルハイロウの力と「邪悪な者を滅ぼした」という満足感だけが残される。